

「人間の生き方についての考えを深めること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第2学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「社会への貢献」（内容項目：C-13 勤労）
- 2 教材名「小さな工場の大きな仕事」（出典「中学道徳 あすを生きる2」日本文教出版）
- 3 主題設定の理由

「勤労」とは、自分の務めとして心身を労して働くことである。職業は、一人一人の人生において、重要な位置を占めており、人は働くことの喜びを通じて生きがいを感じ、社会とのつながりを実感することができる。これまであった仕事が姿を消し、新しい仕事が創出されていく社会の中で、職業とは何かについて考えることは大切である。中学生の段階では、進路や職業についての関心が高まるが、自己中心的にその価値や意義を捉えてしまう傾向がある。このような時期に、勤労の尊さやその意義についての考えを深めるとともに、職業についての正しい考え方を育み、公共の福祉に努めようとする態度を育成することが重要である。

当該の内容項目に関わり、生徒はこれまでに、「心のこもった仕事」「働くことの尊さ」について学んでおり、10月には職業体験学習を行っている。事後アンケートでは、ほとんどの生徒が「職場体験学習がこれからの自分の生き方を考える上で役に立った」と回答した。また、「将来、自分の就きたい職業はあるか」という質問に対しては、「ある」16人、「迷っているがある」9人、「ない」12人という結果であり、半数以上の生徒が、自分の将来について現実的に考え始めていることが分かる。しかし、働く目的については、「生活するために働く」「欲しいものを得るために働く」「自分のために働く」と考え、そのためには「苦勞せずに高収入が得られる職業に就きたい」という安易な考えをもつ生徒も少なくない。本時では、生徒が職業体験を終えて間もないことを踏まえ、個人の立場を越えた社会全体の利益を大切にする心や、自己の資質・能力を有効活用し、社会貢献しようとする態度を育てたい。

本教材は、小さな町工場で生活している中学生の主人公「僕」が、職場体験や家族のふれあいを通して、勤労や職業について理解を深めていく内容である。小さな町工場という外見によって自宅の仕事に不満をもっていた「僕」が、小さな工場の仕事に含まれた大きな意味に気付いていく。本主題の指導にあたっては、「僕」の心情の変化を通して、職業への理解を深め、勤労の意味を考えさせたい。そのため、導入の場面においては、主題への問題意識をもたせるために、事前アンケートの結果を基に自分たちの職業観を確認する。展開においては、資料を読み、「僕」の心の変容を共感的に理解させ、職業についての考えを深めさせるとともに、働くことの意義や自分の将来の生き方を考えさせるために交流活動を行う。終末段階においては、再度アンケートを行い、教師が説話をするこことで今後の実践意欲につなげたい。

4 本時のねらい

勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献しようとする態度を養う。

5 本授業のポイント

- ① 導入の場面において、事前アンケートの結果を提示することで、生徒が、職業体験を想起したり自分たちの職業観を確認したりし、主題への問題意識をもつようにする。
- ② 展開の場面において、Jamboard を活用することで、生徒が、他者の考えを知り、自分との関わりの中で道徳的価値についての考えを深められるようにするとともに、Google forms による事前アンケートと同様のアンケートを行い、生徒の意識の変容を見取るようにする。
- ③ 終末の場面において、教師の経験に基づいた説話をするすることで、勤労の意義、勤労を通じた社会貢献や生きがいのある人生を実現しようとする気持ちを高めるようにする。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p>1 事前アンケートの結果を確認し、本時の主題を捉える。</p> <p>○今、なりたい仕事はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある ・ない <p>○アンケート結果はこのようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「収入を得ること」が多い。 ・「人々の役に立つこと」という考えもある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">「働くことの意味」について</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況を把握するとともに、主題への問題意識をもたせる。 ・プレゼンテーションソフトを使って分かりやすくアンケート結果を提示し、道徳的価値への方向付けを図る。
展開	<p>2 資料「小さな工場の大きな仕事」を読んで、話し合う。</p> <p>○主人公は父親の仕事について、どう思っていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手が汚れ、油のにおいがこびりつくような仕事は嫌いだ。 ・カッコいい仕事とは思えない。 <p>〈補助発問〉</p> <p>◇その気持ちが表れていた出来事は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親が作ってくれた弁当を家に置いていってしまった。 <p>◇どんな仕事に就きたいと思っていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな職場。お金がたくさんもらえる仕事。 ・カッコいい仕事。 <p>○父親の「黒い手が、誇らしく見えた」のはなぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械やコンピュータよりも優れている技術をもっているから。 ・熟練した技術を得るまでの努力を知ったから。 ・世の中の役に立っているから。 	<p>※人間理解～主人公の気持ちを考えるを通して、自分自身の本音と向き合う。</p> <p>※他者理解～「カッコいい」「もてる」という視点で仕事を捉えていた主人公の心の変容について考え、働くことについての考えを深める。</p>

<p>展 開</p>	<p>3 教材文を通した気付きと、自分自身を照らし合わせて考える。</p> <p>○職業体験を通して、自分の気持ちや考えが変わったことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働くことは素晴らしくて、自分のためになるということが分かった。 ・働くというのは誰かのためになり、とてもやりがいのあることだと思った。 <p>○みんなの意見を聞いて、感じたことや疑問に思ったことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人のためになる仕事に就きたいと思った。 ・自分だけじゃなくて周りの人の事を考えながら働くこともあるんだなと思った。 <p>○働く上で、何を大切にしたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入を得て生活を送ること。 ・世の中の人々の役に立つこと。 ・自分の能力や適性を生かすこと。 ・自分を成長させること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを記述した道徳ノートの写真を Jamboard に貼り付け、他者の意見を見られるようにする。 ・Jamboard を見ながら、意見を共有していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートと同じアンケートを Google forms で実施し、結果を表示する。 ●自己の資質・能力を生かして社会に貢献することに意味があるといった勤労観に関わる記述が見られたか。
<p>終 末</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>○これまでの職歴に触れながら、何のために働いてきたかについて話す。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <p>○学習を振り返って、感じたことや考えたことを書きましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が自己の職場体験について振り返ったことと関連付け、考えを深められるようにする。